

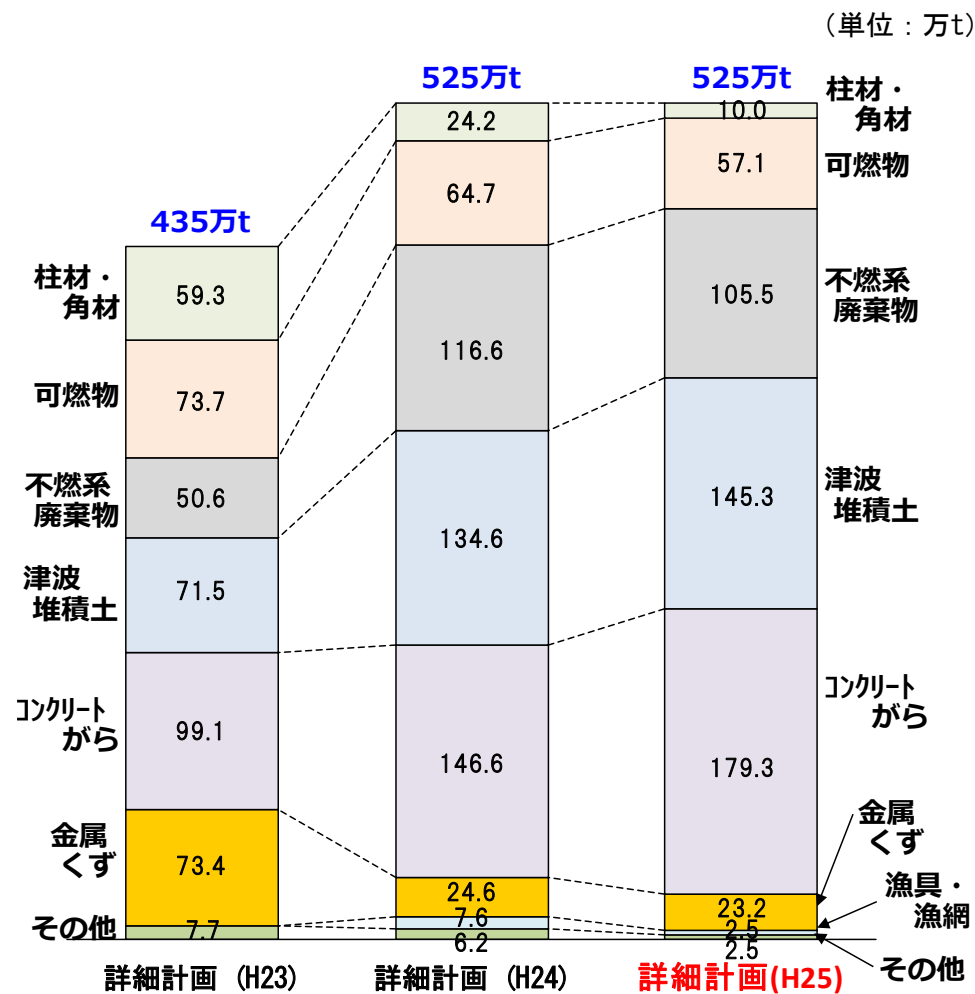
1. 二次改訂の考え方

- 本年度が処理の最終年度であること等も踏まえ、一日でも早く処理を完了し、復興への取組にバトンを渡せるよう**処理のスピードを重視**した計画とします。
- 処理の具体的なスケジュールとともに、復興に資することや環境にも配慮していること等を示し、県民等に**わかりやすく希望の持てる計画**とします。
- これまでの実績と現状を踏まえ、より実態に則した計画とし、災害廃棄物処理に携わる関係者（岩手県及び市町村、受託業者等）にとっての**行動計画（アクションプラン）**とします。

2. 災害廃棄物の種類別の推計量（平成25年4月1日現在）

- 全体量は **525万t** ですが、比重や組成等の精査により種類別では増減があります。

種類別の推計量の推移



種類別の推計量の主な変動要因

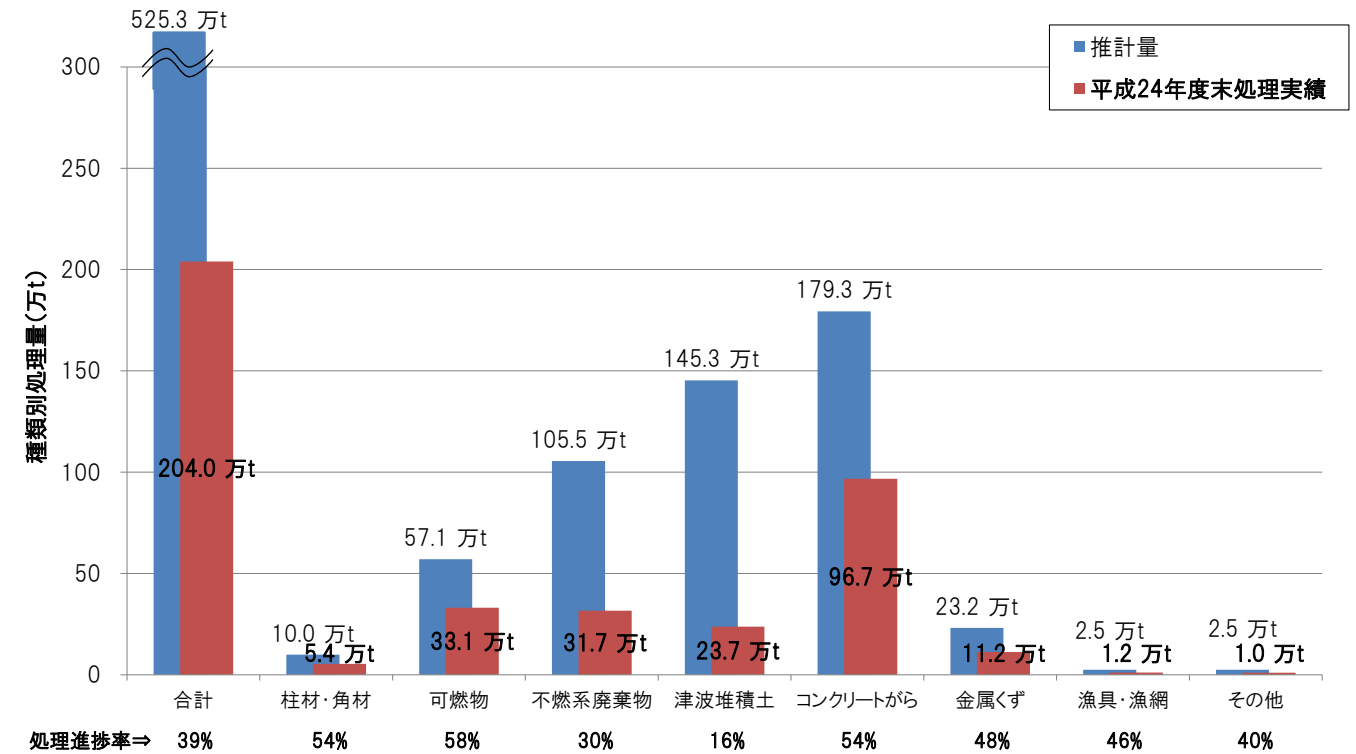
- 柱材・角材 (14.2万t減少)**
・経年劣化による選別率低下
- 可燃物 (7.6万t減少)**
・混合廃棄物中の土砂分増大による選別率低下
- 不燃系廃棄物 (11.1万t減少)**
・再資源化率の増大
- 津波堆積土 (10.7万t増加)**
・再資源化率の増大
- コンクリートがら (32.7万t増加)**
・建物、住宅基礎解体物の精査
- 金属くず (1.4万t減少)**
・実績に基づく精査
- 漁具・漁網 (5.1万t減少)**
・実績に基づく精査

※ 処理の進捗に伴い、より実績に応じた内訳で算出しています。H23及びH24計画の区分も現計画の区分に合わせています。

3. 平成24年度末処理の状況

- 岩手県全体処理量は **204万t** 進捗率 **39%**。改訂前の目標57%を下回っています。

種類別の処理実績



※ 復興資材化した時点で「災害廃棄物」処理は終了しますので、その段階で処理実績に含めて算出しています(約7万t)。

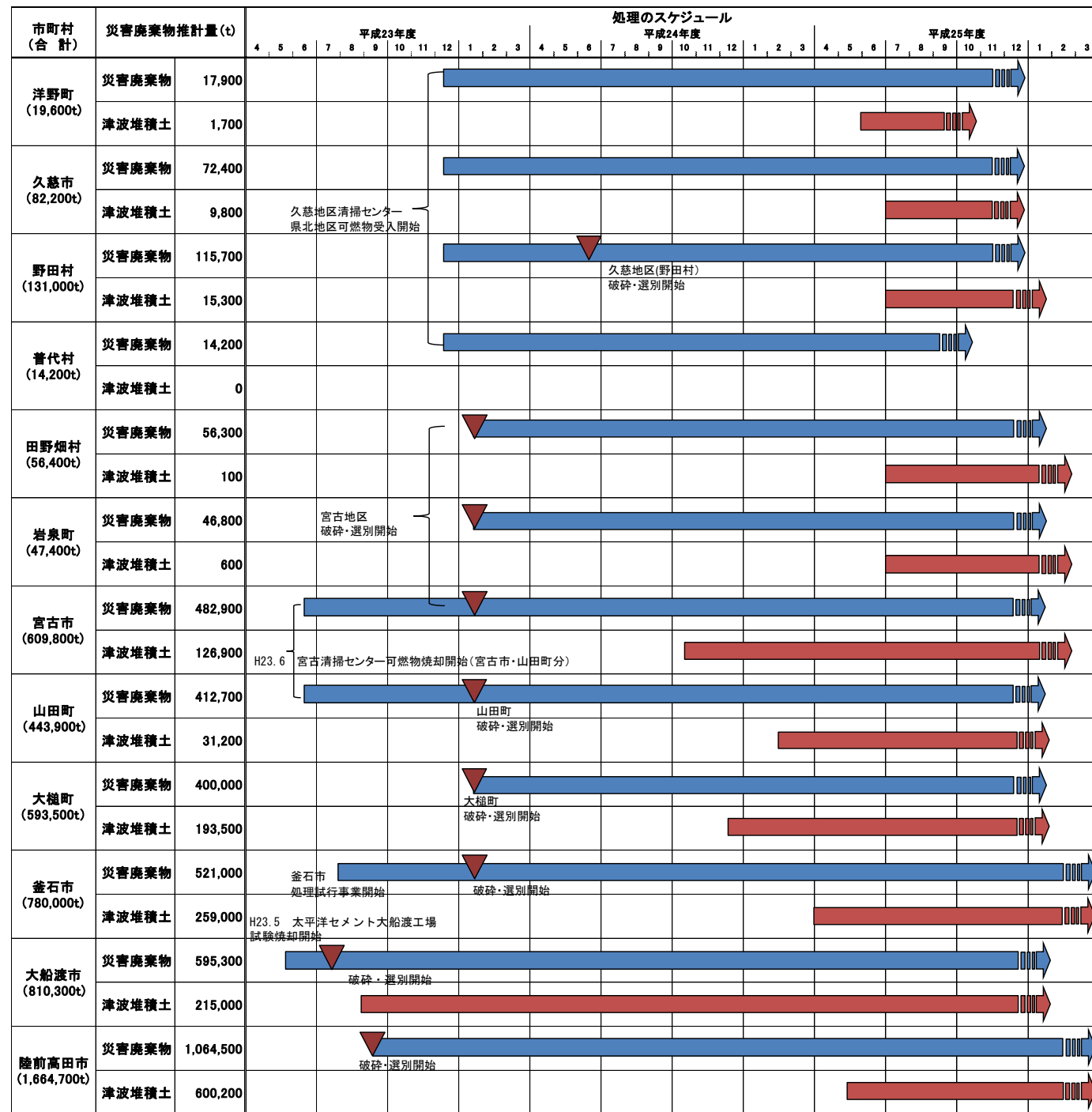
- 再資源化率は **84%** であり、今後とも環境負荷の少ない方法での処理に努めます。

処理の方法及び処理先

処理・処分方法	処理先 (単位: t)			再資源化率 (リサイクル率)
	県内処理	広域処理	計	
建設資材化等	処理量	1,354,500	12,000	1,366,500
	構成比	66%	1%	67%
再資源化 (リサイクル)	処理量	335,600	12,700	348,300
	構成比	16%	1%	17%
小計	処理量	1,690,100	24,700	1,714,800
	構成比	83%	1%	84%
焼却	処理量	197,300	62,400	259,700
	構成比	10%	3%	13%
最終処分	処理量	22,600	37,300	59,900
	構成比	1%	2%	3%
その他の処理	処理量	5,200	0	5,200
	構成比	0%	0%	0%
小計	処理量	225,100	99,700	324,800
	構成比	11%	5%	16%
計	処理量	1,915,200	124,400	2,039,600
	構成比	94%	6%	100%

4. 処理の見通し

- 平成26年3月までの処理完了に向け、処理を進めます。
- 今年度の中間点となる9月末の処理目標を設定し、きめ細やかな進捗管理を実施します。



処理進捗率

	実績 平成25年3月末時点	中間目標 平成25年9月末時点
災害廃棄物	49%	78%
津波堆積土	15%	56%
合計	39%	72%

5. 処理先の調整状況

- 処理の最終年度である本年度の処理フローは、以下のとおりです。

処理先	処理量 (単位:t)	H25計画 (単位:t)		H23~H25予定 (単位:t)	
		割合	処理量	割合	処理量
柱材・角材	54,200	87%	39,500 (うち 1,400)	77%	77,000 (うち 4,000)
	45,600	13%	6,100	23%	22,800
可燃物	330,900	70%	166,800 (うち 85,000)	77%	437,200 (うち 231,700)
	239,800	30%	73,000	23%	133,500
不燃系廃棄物	316,700	87%	645,700 ※	88%	928,200 ※
	738,000	13%	92,300	12%	126,500
津波堆積土	237,300	100%	1,216,000	100%	1,453,300
コンクリートがら	967,200	100%	826,000	100%	1,793,200
	826,000	0%	0	0%	400
金属くず	112,000	100%	119,700	100%	231,300
	119,700	0%	0	0%	400
漁具・漁網	11,500	48%	6,500 ※	35%	8,700 ※
	13,500	52%	7,000	65%	16,300
その他	9,800	100%	14,800 (うち 0)	87%	21,300 (うち 200)
	14,800	0%	0	13%	3,300
合計	2,039,600	94%	3,035,000 ※	94%	4,950,200 ※
処理進捗率: 39%	3,213,400	6%	178,400	6%	302,800

※ 現在県内処理を見込んでいるもののうち不燃系廃棄物、漁具・漁網約11万tは、今後具体的な処理先を調整します。

6. 処理の課題と対応の方向性

課題1 一日も早く処理が完了するためには、一層の処理のスピードアップが必要です。

- 施設の増強や業務改善等により県内処理を迅速化し、広域処理も有効に活用します。

課題2 処理を円滑に進めるため、復興資材等の十分な保管場所の確保が必要です。

- 市町村及び国と緊密に連携し、保管場所の確保に努めます。

課題3 復興資材が確実に復旧・復興事業等に活用されるよう、具体的な事業との一層のマッチングが必要です。

- 復興資材の活用については全体的にはおおむねマッチングが進んでいますが、さらに確実なものとするため、活用のタイミングや事業等を具体的に調整していきます。